

参考資料2 「食のみやこととり～食育プラン～（H25～29）」目標値出典

重点目標：健全な食習慣を実践する

指標	現状	目標
主食・主菜・副菜の揃った食事をする県民の増加	90%	95%

栄養素摂取量を良好にし、生活習慣病の一次予防、身体機能の維持・向上を図るために、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をする県民を増やすことを目指す。

指標としては、主食・主菜・副菜の揃った食事をしていない県民を現在の半分程度にすることを目標とする。

出典 (現状) 平成22年県民健康栄養調査, 鳥取県健康政策課

(目標) 平成27年県民健康栄養調査, 鳥取県健康政策課

指標	現状	目標
朝食を食べる県民の増加 (児童・生徒)	88%	100%
(成人男性)	82%	90%

生活習慣の形成途上にある子どもは、全員が朝食を食べる習慣を身に付けることが理想であるため、食育推進基本計画と同様に全員が朝食を食べることを目指して100%とする。

成人の中でも特に働き盛り世代(20～60歳代)の男性の朝食欠食率が高いこと、一次計画の目標値で唯一悪化した指標であることから、一次計画と同じ90%を目標とする。

出典 児童・生徒(現状) 平成22年度食事と生活についてのアンケート,

鳥取県学校栄養士協議会

(目標) 平成27年度食事と生活についてのアンケート,

鳥取県学校栄養士協議会

成人男性 (現状) 平成22年県民健康栄養調査, 鳥取県健康政策課

(目標) 平成27年県民健康栄養調査, 鳥取県健康政策課

重点目標：食に対する感謝の心を養う

指標	現状	目標
市民農園の利用区画数の増加	1,137 区画	1,250 区画

保育所や幼稚園、小学校では、子ども達が農産物の栽培や収穫などに関わる機会が多くある。

農林水産業の現場と消費者との距離が近い環境にある一方で、生産者と関わる機会がなく、栽培や収穫などを実際に体験する環境がない県民の体験機会を把握する指標として市民農園の利用区画数の増加を目標とする。

出典 (現状) 平成24年度市民農園開設状況調査, 鳥取県農林水産部

(目標) 平成29年度市民農園開設状況調査, 鳥取県農林水産部

指標	現状	目標
家庭で食事をつくる県民の増加 (成人男性)	30%	45%
(成人女性)	90%	95%

全国と比較して家庭で食事をつくる県民が少なかったことから、ほとんど食事をつくらない県民を減らし、全国並の水準とすることを目標とする。

出典 (現状) 平成22年県民健康栄養調査, 鳥取県健康政策課

(目標) 平成27年県民健康栄養調査, 鳥取県健康政策課

指標	現状	目標
食事のあいさつをする県民の増加	88%	100%

全国と比較して食事のあいさつをする県民が少なかったことから、食事のあいさつを全くしない県民を減らして、全国並の水準とすることを目標とする。

出典 (現状) 平成22年県民健康栄養調査, 鳥取県健康政策課

(目標) 平成27年県民健康栄養調査, 鳥取県健康政策課

重点目標：豊かな食文化を継承する

指標	現状	目標
地域の産物や旬の食材を知っている県民の増加	69%	80%

全国と比較して地域の産物や旬の食材を知っている県民が少なかったことから、全国並の水準とすることを目標とする。

出典 （現状）平成22年県民健康栄養調査，鳥取県健康政策課
（目標）平成27年県民健康栄養調査，鳥取県健康政策課

指標	現状	目標
地産地消を知っている子どもを増やす	(調査中)	(増やす)

小中学校では県産品を給食で提供するだけでなく、児童・生徒への食に関する指導の教材として県産品を活用している。子どもへの指導を充実させ、地産地消について知っている子どもを増やすことを目標とする。

出典 （現状）平成24年食事と生活についてのアンケート，鳥取県学校栄養士協議会
（目標）平成27年食事と生活についてのアンケート，鳥取県学校栄養士協議会

指標	現状	目標
学校給食用食材の県産品利用率	66%	60%以上 で向上を図る

一次計画では、目標とした60%を大きく上回り、全ての市町村で60%以上の地産地消率を達成した。この水準を維持していくためには今後も関係者の不断の協力が必要なため、引き続き目標値として設定する。

鳥取県の子どもたちの未来のための教育に関する協約に掲げる平成24年度子どもたちの未来のための教育振興施策に定めた取組の指標（産業振興条例の趣旨を踏まえたもの）と同様の指標とする。

出典 （現状）平成23年度，鳥取県教育委員会スポーツ健康教育課調べ
*県内産食材の使用率
（目標）平成28年度，鳥取県教育委員会スポーツ健康教育課調べ
*県内産加工品を含めた県産品の利用率

重点目標：食に関する正しい知識を持つ

指標	現状	目標
食品の表示の見方を知っている県民の増加	63%	75%

全国と比較して食品の表示の見方を知っている県民が少なかったことから、全国並の水準とすることを目標とする。

出典 (現状) 平成22年県民健康栄養調査, 鳥取県健康政策課

(目標) 平成27年県民健康栄養調査, 鳥取県健康政策課

指標	現状	目標
食に関する正しい知識を学ぶ県民の増加	98,190 人/年	49万人 /5年間

食に関する正しい知識の普及を図るために、食生活と健康、歯と口の健康、食品衛生や表示に関する学習会を今後も継続して実施し、正しい知識を学ぶ県民を増やすことを目標とする。

出典 (現状) 平成23年度地域保健・健康増進事業報告, 厚生労働省

- ・ 保健所及び市区町村が実施した歯科健診及び保健指導
- ・ 保健所及び市区町村が実施した訪問による歯科健診及び保健指導
- ・ 保健所及び市区町村が実施した栄養指導
- ・ 保健所及び市区町村が実施した衛生教育（栄養・健康増進、歯科、食品衛生）
- ・ 個別健康教育（高血圧、脂質異常症、糖尿病）
- ・ 集団健康教育（一般、歯周疾患、病態別）

平成23年度 農林水産省中国四国農政局調べ

(目標) 平成27年度地域保健・健康増進事業報告, 厚生労働省

平成27年度農林水産省中国四国農政局鳥取地域センター調べ